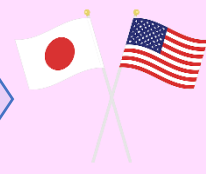




架け橋



令和6年(2024年)4月26日

第2号

校長 小島 昇

やる気に満ちた新年度が始まっています！

4月20日の第2回授業日、私はW校に勤務し、玄関で幼児部・初等部低学年の園児・児童を迎えました。W校では、子どもたちや保護者の皆様の前であいさつをできていないため、校長としての存在を認識されていない状況でしたが、それでも笑顔で「おはようございます」と言える子どもたちが多く、嬉しくなりました。

W校・L1校の両校では、年度始めの学カテストが行われ、副教材の配付も進んで授業が始まっています。各学級で自己紹介をする子どもたちの姿からは、新年度を迎えてやる気になっている様子が伝わってきます。

入学式でのW校中等部1年生、L1校初等部1年生のあいさつを紹介します

私は今年から中等部一年生になります。私と補習校との出会いは、幼児部年長の時まで遡ります。当時六歳だった私は、とても恥ずかしがり屋で人見知りもひどく、常に母にくっついていて子供でした。入園前のスクリーニングでは、みんな楽しそうに遊ぶ中、一人だけ大泣き、入学式は母のとなりに座り、ずっと手を繋いで離さず、しばらくは半ベソをかいて登校していたのを覚えています。そんな中、私が唯一ホッとできたのが、先生やお友達との軽食の時間でした。毎週温かく迎えてくださる先生と、優しくて明るく面白いクラスメイト達のおかげで少しずつ緊張がほぐれて、だんだん土曜日が楽しみになっていきました。幼児部では毎週、季節の工作や絵を描き、行事も沢山あります。お父さんやお母さんも参加するお買い物ごっこや、お餅つき、豆まき、一年間楽しいことが沢山待っています。初等部になると勉強の時間が多くなりますが、休み時間に外やジムで友達と思いっきり遊ぶのはとってもいい気分転換になります。そして運動会はクラスみんなで力を合わせ、心がひとつになる素晴らしい体験ができると思います。



六歳の小さかった私が独りぼっちで補習校に通い始めた時、中学生がとても大きく立派に見えましたが、あっという間に私自身がここまでできてしまいました。六年生まで諦めないで補習校に通い続けることが出来たので中等部に進学してもきっと頑張れるはずだと私は自分を信じています。



私の好きな女優エマ・ワトソンは、「失敗は人生の道なり」と言っています。これから大人になっていく途中、失敗をする事があっても、その失敗から何かを学び、絶対に進んでいきたいと思っています。これからもこの言葉を忘れずに、どんどん新しいことにチャレンジしていきたいと思っています。



年中、年長の皆さん、補習校へようこそ。初めての補習校でドキドキしているかもしれないけど、先生は優しいし、お友だちもすぐにできるから大丈夫ですよ。

ぼくたちは、今日から1年生です。今日、初めて教科書もらいます。漢字の勉強が今からとっても楽しみです。今年も運動会ができるといいな。もちつき大会も、またやってみたいです。

皆さん、ぼくたち、わたしたちのこと、これからもよろしくお願ひします。



令和六年度
入園入学進級おめでとう



海外子女教育振興財団 (JOES) 主催「帰国生のための海外学校説明会・相談会」

6月22日(土)に慶応義塾ニューヨーク学院にて開催されます。関心のある方は、次のリンクより詳細をご確認ください。 ⇒⇒ https://www.joes.or.jp/kojin/kaigai_setsumeikai